

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 統計調査室	所属長名	飯島 和夫	電 話	483-1151 内線4200
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3106		事務事業名称	統計調査総務事業						短縮コード	経常	3106	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	01	統計調査総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市事務分掌条例 八千代市行政組織規則第6条 八千代市統計協議会補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
各種統計調査に係る総務管理業務として、統計調査が円滑に実施できるような環境づくりや、統計調査に関する情報の配信やデータの管理等を行い、統計調査の重要性を周知するために実施。 八千代市統計協議会への助成（各種統計調査に対応するため、昭和54年4月統計調査員の確保並びに育成、統計思想の普及を図るために発足）														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	6本の柱（章）	07	計画の推進のために						
近年における統計は行政のための統計から、社会の情報基盤へと幅広い資料に活用されている。統計を得るためには調査員等の正確な実地調査が基になるが、調査をとりまく環境は、生活形態の多様化や個人情報等プライバシー意識の高揚などにより、厳しい状況に置かれている。 そのため、市および統計協議会による統計思想の普及など、統計調査を円滑に実施するための環境づくりが重要になってくると考えられる。						大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営						
						中 項 目	01	第1章市民参画によるまちづくりの推進						
						小 項 目	02	(2)市民参画体制の充実						
						細 項 目	02	②市民ニーズの的確な把握と市政への反映						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	統計情報の収集及び管理 八千代市統計協議会への補助（調査員の確保・育成、統計思想の普及）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ・統計調査に関する情報の収集及び配信，統計資料の管理 （市ホームページに統計データ等の掲載，広報による統計調査の啓発，千葉県京葉ブロック研究会・市町村統計主管課長会議への出席，統計協議会へ各種統計調査への協力依頼等） ・八千代市統計協議会への補助，県統計協会等への負担金の支出 （調査員研修会の実施等）						
	※平成24年度に計画していること： 市ホームページ等の媒体を有効活用し統計に関する幅広い情報の提供を行う。						
意図 （何を狙っているのか）	統計調査が街づくりや社会生活基盤の資料等に活用されていて市民生活とは切り離せない重要性等について周知を図り，各種統計調査が円滑に実施できるよう環境を整備する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	八千代市統計協議会会員数	人	86	86	84	84
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	八千代市統計協議会会員の調査員等延べ従事数	人	14	69	16	75
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	調査員等に占める会員の割合	%	78	100	23	100
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3106	事務事業名称	統計調査総務事業				所属名	総合企画課 統計調査室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		各種統計調査の円滑な実施に向けて、調査の時期や規模を考慮し調査員の計画的な確保にあたり、統計の重要性や調査実施予定等の周知にも努めてゆく。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			統計情報の配信や統計調査の重要性の周知を継続して行うことは円滑な調査の実施に繋がるが、調査客体のプライバシー保護意識の高まりなど厳しい調査環境を考慮し、成果不変とした。経費については人件費や機器賃借料が大部分を占めており、削減は難しい。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし。									

所属長コメント	統計調査の実施にあたり、プライバシー意識の高まりや個人情報保護、生活様式や居住形態の多様化など、統計調査を巡る環境は一層厳しさを増している。統計調査が円滑に実施できる環境を整備することが市民の市政への参加につながり、統計情報から本市の実態把握や計画策定への利活用を図るうえで、この事業を継続していく必要がある。								
	評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。				
☐ 手法プロセスの改革・改善									
☐ 事業規模の拡大・縮小									
☐ 統合・役割見直し									
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									